

分 類：臨床医学 VI (CC2)

授業科目名：循環器内科学 臨床実習 (Cardiovascular)

対象学年：5 年次 選択

時間割コード：71644006-04

1. 主任教員

渡邊 博之 (教授、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

2. 担当教員

渡邊 博之 (教授、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

寺田 健 (講師、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

佐藤 輝紀 (講師、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

鈴木 智人 (助教、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

佐藤 和奏 (助教、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

加藤 宗 (助教、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

若木 富貴 (助教、南臨床棟 5 階、6110、オフィスアワー：9:00-17:00 要アポイント)

3. 授業のねらい及び概要 (学修目標)

1. 診療参加型臨床実習 CC2 の概要・ねらい

各科実習期間が 4 週から 5 週となる CC2 では、1 年間の CC1 の経験を踏まえ、より本格的な循環器内科の診療参加型臨床実習を行う。

教員・医員・研修医の 3～4 名からなる診療チームの中に入り、そのチームの受け持ち患者をすべて受け持ち、すべての検査や治療に参加する。

指導医の監督の下に、日々の回診、カルテへの記載、プレゼンテーション、および各種検査、各種カンファレンスへの参加など実際の診療に参加しながら、担当患者の臨床推論・治療の過程を実践的に学ぶことにより、将来、何科の医師になっても必要な循環器内科領域の基本的な診療能力を実践修得する。

また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）、EBM について学ぶ。

(1, 2, 3, 4, 5, 6)

2. 学修目標

この期間に本診療科で特に経験する内容を下記に示す。

1) 症候・病態 (3-1.2.3.4.5)

(1) 発熱、(2) 全身倦怠感、(3) 食思(欲)不振、(4) 体重減少・体重増加、(5) ショック、(6) 意識障害・失神、(7) けいれん、(8) めまい、(9) 浮腫、(10) 咳・痰、(11) 呼吸困難、(12) 胸痛、(13) 動悸、(14) 胸水、(15) 嚥下困難・障害、(16) 腹痛、(17) 悪心・嘔吐、(18) 頭痛、(19) 腰背部痛、(20) 心停止

2) 基本的臨床手技 (4-6)

- (1) 皮膚消毒ができる。
- (2) 静脈採血を実施できる。
- (3) 末梢静脈の血管確保を実施できる。
- (4) 中心静脈カテーテル挿入を見学し、介助する。
- (5) 動脈血採血・動脈ラインの確保を見学し、介助する。
- (6) 注射(皮内、皮下、筋肉、静脈内)を実施できる。
- (7) 診療録(カルテ)を作成する。来診券、紹介状を記載する。
- (8) 各種診断書・検案書・証明書の作成を見学し、介助する。

3) 検査手技 (4-2, 4-6)

- (1) 12誘導心電図を記録できる。
- (2) 心臓の超音波検査を実施できる。
- (3) 経皮的酸素飽和度を測定できる。
- (4) 心エコー、運動負荷心電図、心筋シンチグラフィー、心臓カテーテルを見学し、介助する

4) 外科手技 (4-6)

- (1) 無菌操作を実施できる。
- (2) 手術や手技のための手洗いができる。
- (3) 手術室におけるガウンテクニックができる。
- (4) 基本的な縫合と抜糸ができる。
- (5) 創の消毒やガーゼ交換ができる。
- (6) 手術、術前・術中・術後管理を見学し、介助する。

5) 救命処置 (2-1.2.3.4.5.6.7, 4-1.2.3.4.5.6.7)

- (1) 身体徴候、バイタルサインから緊急性の高い状況であることを判断できる。
- (2) 一次救命処置を実施できる。
- (3) 二次救命処置を含む緊急性の高い患者の初期対応に可能な範囲で参加する。

6) シミュレーション教育 (4-2, 4-6)

- (1) 心エコーシミュレーターを用いて反復練習をすることで、臨床技能を磨く。
- (2) 心臓カテーテルシミュレーターを用いて、冠動脈造影中の医療安全に関する様々な意識を実験する。
- (3) エコーガイド下、中心静脈確保をシミュレーターを用いて経験保証する。

7) 医療行動科学、医療倫理、医療安全、医療法について (2-1.2.3.4.5.6.7.8, 3.5.6)

- (1) 各種検査・治療のインフォームドコンセント
指導医のもとでCT等の同意書を患者さん、ご家族から実際に取得する。
- (2) 困難な患者 急変患者・家族への説明、
- (3) 各種検査時の安全への配慮

本科目は実務経験のある教員による授業科目です。

4. 教科書・参考書

内科診断学 (医学書院)
内科診断学 (南江堂)
集中講義 胸痛 (メジカルビュー社)
内科学 (朝倉書店)
Navigate 循環器疾患 (医学書院)
病気が見える循環器 (メディックメディア)
臨床循環器学 (文光堂)
クリニカルクラークシップガイド等、講義・演習資料

5. 成績評価の方法

CC-EPOC 入力状況、実習態度、口頭試問、miniCEX、OSCE、レポート、出席などにより行う。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

- ・ クリニカルクラークシップガイドの実習直前に必ず復習してくる事項【必修 (コア) 事項】を学習してくる。
- ・ 経験記録、手帳の記載を行うこと

循環器内科学 臨床実習

授 業 展 開	授 業 内 容
第 1 回 月曜日 [9:20-17:00] 副題 担当	(第 1 週のみ) オリエンテーション (渡邊)：第二病棟 4 階カンファレンスルーム 患者診察／病棟診療
第 2 回 火曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	患者診察／病棟診療
第 3 回 水曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	患者診察／病棟診療
第 4 回 木曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	患者診察／病棟診療
第 5 回 金曜日 [9:00-17:00] 副題 担当	患者診察／病棟診療 (最終週) 試問 (渡邊)：教授室